

学級活動（１）指導案

1. 日時・場所 令和3年 12月24日（金）第3校時

2. 議題名 「みんなで遊ぼう集会！」

●学級目標●
協力の花を咲かせよう！！

3. 議題について

（１）児童の実態

様々なことに興味、関心はあるが、進んで発言することができない場面が多く、決まった児童が発表することが多い。また、自分に自信をもてない児童が多く、学習に前向きに取り組むが積極性に欠ける面が見受けられる。そのため、多数の意見に対して疑問や反対意見があっても、自分の意見を言わずに我慢する児童が多いように感じる。6月の終わり頃から議題BOXをクラスに設置し、学級会に取り組んできた。一回目が「係活動を新しくするかどうか」についてである。後期になると係活動を新しくするという経験が児童には多く、あまり活動していない係もあったため、「新しくしたい」という意見が多く出た。新しくしたくないという意見も少数あった。しかし、係の現状のメンバーと仕事内容に充実感があるという意見があり、発言を多くする児童から「少し変えるだけでもいいのではないか」という意見が出た。その意見に対して、あまり発言しない児童から「自分もその方がいい」と発表することが増え、話合いが活発になってきたのである。

そこからどんな工夫ができるのかを考え、「移動したい人だけ移動する」という方法に決定することとなった学級会終了後に担任から、自分の意見を発表できたことと、様々な意見の中から工夫をして決められたことを褒めると「次の学級会では発表したい。」「みんなで協力して決めることができた。」という前向きなふりかえりが多くあった。新しい係活動を決める時には移動したい人たちが喧嘩にならないように自然と譲り合いが生まれ、改めて仕事内容を刷新しようという積極性にもつながったのである。

二回目では「学級目標を守るためにどうしたらいいか」について話合い、注意した方がいいという意見や注意するとうるさくなくて喧嘩になるという意見があり、どうしたらよいかを決めかねていた。そこで「机に貼ると、目にも入っていいのではないか」という意見から、それに決定し、実施することとなった。机の上にテープで貼ることで児童も意識できるようになり、優しく声をかけ合う場面がさらに増えてきたのである。三回目の学級会でも工夫して決めようとする発言があり、自分の意見を言おうとする姿勢が徐々に向上してきているように感じている。

（２）議題選定の理由

コロナ禍で、児童たちは多くの制限の中で学校生活を送っている。クラスの児童は、よく理解しているが、「遠足に行けなくなった」「〇〇が中止になった」「友だちと会えない」「みんなで歌が歌えない」など、昨年度から残念な思いをもち続けている。議題ボックスにあった議題カードには、児童により表現は違うが、「みんなで思い出を作りたいから、お楽しみ会やイベントがしたい」という思いが書いてあるものが何枚もあった。子どもたちの思いとして、多くが「思い出を作る」という強いものがあった。しかし、この思いをもちながらも、夏休みの延長やオンライン学習の併用などにより、クラス全体で思い出を作れない状況が続いてしまった。

そのため、みんなで何かをしたいという思いがさらに強くなってきている。ある児童から「なんでもいいから遊びたい」という議題カードを作成し、議題選定の理由として「クラスみんなで遊ぶことが少ないから」ということになった。

4. 評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
みんなで楽しい学級生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。意見のくらべ方やまとめ方を理解し、活動の方法を身に付けている。	楽しい学級生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について理由などを比べ合いながら合意形成を図り、協力し合って実践している。	楽しい学級生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の考えを生かし、役割を果たして集団活動に取り組もうとしている。

5. 事前の実際

(1) 事前の活動

・児童の活動	○指導上の留意点	☆目指す児童の姿
・議題 BOX に「なんでもいいからみんなであそびたい」という思いが寄せられる。	○議題 BOX に入れる議題カードの書き方の指導を全体にして確認する。	☆学級会に向けて進んで準備をしようとしている。(主体的態度)
・学級会計画委員会を開く。	○なぜこの議題を選んだのかという理由を明確にもつように伝える。 ○話し合いのめあてを考え、どのようにしたらめあてが達成できるのか声をかける。	
・議題を選定する。		
・計画委員会で話し合いのめあてを決め、司会グループの役割分担をする。		
・クラスに伝える内容を確認する。	○事前に議題などをワークシートに記入し、自分の考えをまとめる時間をつくる。	☆議題や提案理由を聞いて、自分の意見をまとめて、ワークシートに書いている。(思考・判断・表現)
・自分の考えをワークシートに記入する。		

(2) 本時の活動

①ねらい

・クラスで協力し、遊びの内容を話し合っで決めるようとしている。

②教師の指導計画

話し合の順序	○指導上の留意点	☆目指す児童の姿
<p>1. 始めの言葉</p> <p>2. 司会グループの紹介</p> <p>3. 議題の確認 議題 「みんなで遊ぼう集会をしよう！」</p> <p>4. 提案理由の確認 提案理由 クラスのみんなで一緒に遊ぶことが少ないから</p> <p>5. 話し合のめあての確認 めあて みんなで協力して、みんなで楽しめる遊びを工夫して考えよう。</p> <p>6. 話し合 話し合うこと① みんなでできる遊び</p> <p>7. 決まったことの確認</p> <p>8. ふりかえりタイム</p> <p>9. 先生のお話</p> <p>10. 終わりの言葉</p>	<p>○決まっていることを確認するためにテレビに GIGA 端末でスライドを映す。</p> <p>○明るい雰囲気事前に作り、各自が自信をもって話ができるようにする。</p> <p>○今回の話し合で決めなくてはいけないことを意識できるような場を設定する。</p> <p>○発言者が偏らないようにするとともに、進んで発言できない児童には、個別に助言する。</p> <p>○必要に応じて「相談タイム」を設ける。</p> <p>○自分の考えに固執せず、納得した上で考えを変えるなど、折り合をつける必要についても助言する。</p> <p>○担任から司会者などへねぎらいの言葉をかけるとともに、めあてが意識できていたかどうかなど良かった点を伝える。</p>	<p>☆友だちの意見を大切にしながら、発表をしようとしている。 (主体的態度) 《観察》</p> <p>☆自分の意見をまとめて、ワークシートに書いている。 (思考・判断・表現) 《観察》</p>

(3) 事後の活動

・児童の活動	○指導上の留意点	☆目指す児童の姿
・学級会計画委員会が必要な役割を考え、決める。	○係などを確認して、誰がどのような役割をするのか決めるように声をかける。	☆学級会に向けて進んで準備をしようとしている。(思考・判断・表現)《観察》
・役割ごとに集会の準備をする。	○必要に応じて助言をしたり、準備をしたりする。	
・みんなで遊ぼう集会をする。	○めあてを意識しながら取り組めるように声をかける。	☆集会のめあてを意識して集会に取り組んでいる。(思考・判断・表現)《観察》
・集会のふりかえりをする。	○自分自身のめあてと、集会のめあてが達成できたかどうかをワークシートに記入するように伝える。	☆集会のめあてを意識して、ふりかえりをする事ができる。(主体的態度)《ワークシート》